

京都大学学術情報メディアセンター大型計算機システム利用負担金規程新旧対照表

改正前	改正後
<p>(前 略)</p> <p>別表 1 } 別表 2 } (略) 別表 3 }</p>	<p>附 則 この規程は、平成 2 9 年 4 月 1 日から施行する。</p> <p>別表 1 (同 左) 別表 2 <u>(別 添)</u> 別表 3 (同 左)</p>

別表2 (汎用コンピュータシステム)

区分	利用負担額	単位
仮想サーバホスティングサービス	36,000 円/年	1 仮想サーバにつき

備考

1. 利用負担額は、総額表示である。
2. 上記表の仮想サーバホスティングサービスを利用するには、スーパーコンピュータシステムの利用者であること。
3. 1 仮想サーバに割当てるシステム資源は、CPU：2 コア、メモリ：4GB、ディスク：100GB である。
4. 仮想サーバホスティングサービスにおいて、下記の負担額を支払うことにより CPU、メモリ、ディスクを増量することができる。

区分	利用負担額	単位
CPU 増量	3,000 円/年	2 コアにつき(最大 8 コアまで)
メモリ増量	3,000 円/年	4GB につき(最大 64GB まで)
ディスク増量	6,000 円/年	100GB につき(最大 1,000GB まで)

5. 利用負担額は、当該年度(4 月から翌年 3 月まで)の利用に対して年額として算定するが、年度途中から利用を開始する場合には月数に応じて減額する。

区分	利用負担額	単位
VMホスティングサービス	72,000 円/年	1 仮想マシンにつき
ホームページサービス	6,000 円/年	1ドメイン名につき
ストレージサービス	6,000 円/年	1申請につき

備考

- ~~1. 利用負担額は、総額表示である。~~
- ~~2. 上記表の汎用コンピュータシステムのサービスを利用するためには、大型計算機システムの利用者であることが必要である。~~
- ~~3. VMホスティングサービスにおいて、下記の負担額を支払うことにより CPU、メモリ、ディスクを増量することができる。~~

区分	利用負担額	単位
CPU 増量	18,000 円/年	2 コアにつき(最大 8 コアまで)
メモリ増量	18,000 円/年	8GB につき(最大 64GB まで)
ディスク増量	18,000 円/年	200GB につき(最大 1,000GB まで)

- ~~4. VMホスティングサービスにおいて VMware を用いる場合は、下記の負担額を支払うことにより VMware の利用及び CPU、メモリ、ディスクを増量することができる。ただし、システム資源が限られているためサービスの提供を限定することがある。~~

区分	利用負担額	単位
VMware 利用	72,000 円/年	1 仮想マシンにつき
CPU 増量	36,000 円/年	2 コアにつき (最大 8 コアまで)
メモリ増量	36,000 円/年	8GB につき (最大 64GB まで)
ディスク増量	18,000 円/年	200GB につき (最大 1,000GB まで)

5. ~~ホームページサービス及びストリーミングサービスにおいて、下記の負担額を支払うことにより公開スペースの上限を拡大することができる。~~

区分	利用負担額
公開スペース 20GB プラン	3,000 円/年
公開スペース 50GB プラン	9,000 円/年

6. ~~利用負担額は、当該年度(4月から翌年3月まで)の利用に対して年額として算定するが、年度途中から利用を開始する場合には月数に応じて減額する。~~